

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和8年度 第1回寒川広域リサイクルセンター運営委員会		
開催日時	令和8年7月14日（火） 14時00分～15時00分		
開催場所	寒川広域リサイクルセンター 研修室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	出席者 菊地委員長、金子副委員長、石田委員 事務局 大山環境経済部長、伊藤環境課長兼リサイクルセンター場長、赤井副主幹、筒井主任主事 傍聴者 なし		
議 題	(1) 資源物搬入量・搬出量実績について (2) 資源物の搬出量と売却額及び売却単価の比較について (3) 施設見学者数について (4) 令和8年度長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について (5) その他報告		
決定事項	—		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 2 あいさつ 3 委嘱状の交付 4 委員長・副委員長の選任 5 議題 (1) 資源物搬入量・搬出量実績について 【事務局】 <資料1-1、1-2により説明> (2) 資源物の搬出量と売却額及び売却単価の比較について 【事務局】 <資料2により説明> (3) 施設見学者数について 【事務局】 <資料3、参考資料により説明> (4) 令和8年度長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について 【事務局】 <資料4により説明>		

	(5) その他報告 【事務局】 <資料 5 により説明> 6 閉会 ◆質疑応答◆ <u>(1) 資源物搬入量・搬出量実績について</u> 【菊地委員長】 令和 7 年度が減っているということか。 【事務局（筒井）】 はい、そうです。若干ですが、搬入量が少なくなっている。 【菊地委員長】 回収方法が変わったからか。 【事務局（筒井）】 回収方法も変わっているので、影響している部分もある。 【菊地委員長】 人口の影響があるか。 【事務局（筒井）】 人口は、あまり増減していない。全体的に量が減ってきているという状況。 【金子副委員長】 寒川のペットボトルが増えているのはなぜか。 【事務局（大山部長）】 ペットボトルは、収集変更で増えたと考えられる。月 2 回になった。 今までスーパーやコンビニとかに持って行ってたものが、町の収集に出すようになった。 また、ビンが減っているが、ビンからペットボトルに移行されて減ってきている。 缶はスチールからアルミに変わり、かなり重さが変わっている。 特徴的なのは、リサイクルセンターに直接持ってくる人がだいぶ減っている。 収集変更で、出しやすくなった分、持って行かなくてもよくなった。 最後のページの一番下にグラフがあるが、半分ぐらいになっている。 【事務局（筒井）】 資料 1 の 5 ページ目。持込件数というところ。
--	--

	<u>(2) 資源物の搬出量と売却額及び売却単価の比較について</u> 【菊地委員長】 水平リサイクルとは具体的にどこにか。 【事務局（筒井）】 ペットボトルからリサイクルをして、またペットボトルに戻すといったもの。ボトル to ボトルとも言う。 【菊地委員長】 圧縮してからか、それとも原型のまま行うのか。 【事務局（筒井）】 原型のままではなく、プラスチックの「ペレット」にしてからになる。 【事務局（赤井副主幹）】 こちらで集めたペットボトルを、リサイクル工場の方で、選別・洗浄し、ペレットにして、それを原料にまた新たにペットボトルを作る。 容器包装リサイクル協会へ出荷しているものは、ペットボトルからペットボトルになるものもあるが、その他のプラスチック製品に生まれ変わることもある。確実にペットボトルからペットボトルを作るために出荷するものを水平リサイクルという。 【菊地委員長】 ペットボトルの圧縮はおこなっているか。 【事務局（赤井副主幹・筒井）】 おこなっている。 【金子副委員長】 ペットボトルの単価が令和6年度と7年度の上期は、差が大きい。なんでこんなに差があるのか。 【事務局（赤井副主幹）】 令和6年度は、まだ、ペットボトルを原料とした製品を作りたいという世の中の需要が非常に高く、石油からペットボトルを作るというよりもペットボトルからプラスチック製品を作るという方がコストもかからないため、ペットボトルの争奪戦をしていたなごりがあり、6年度は、取引価格が高かったと思われる。 それが令和7年度は、だいぶ落ち着いてきて容リ協の単価が下がってきている。 【金子副委員長】 水平リサイクルと金額が大きく異なっているが。
--	--

	【事務局（赤井副主幹）】 水平リサイクルの単価が高いのは、容リ協とは別にリサイクル業者と話し合いの中で単価を決めているため。 <u>(3) 施設見学者数について</u> 【菊地委員長】 見学は、小学校だけか。 【事務局（筒井）】 中学校も来ている。寒川町は小学校だけ。 【事務局（伊藤課長）】 旭が丘中学校は、小谷小学校と旭小学校で来ているからか。 【事務局（筒井）】 旭が丘中学校は、小谷小学校と旭小学校のときに来ている。 【事務局（赤井副主幹）】 小学校4年生で、環境学習を行う单元があるので、どの学校も4年生が見学で来所する。 茅ヶ崎の中学校は、令和7年度だと、茅ヶ崎第一中学校、西浜中学校、浜須賀中学校の合同で来ている。おそらく、学年の中で、環境だとか資源物だとかゴミだとかに興味のあるグループが見学に来ているのだと思われる。 学年の中で、色々なところに見学に行くグループがある中の1つとして、環境に興味のあるチームが、令和7年度ではこの3校が合同で23人来ているので、中学校だと社会科など单元として、環境というものが小学校で学ぶそこまでのものがないのかも知れない。 【菊地委員長】 自治会も少ない。茅ヶ崎だと高田自治会だけ。 【事務局（伊藤課長）】 高田自治会は、リサイクルセンターだけを見学したのか。茅ヶ崎の環境事業センターも見学されたか。 【事務局（赤井副主幹）】 茅ヶ崎市の見学は、自治会単独で申し込みされるところと、市役所を通じて申し込みするところがあり、市役所を通じて申し込むと職員が随行で来たりする。ただ自治会単独の申し込みの場合は随行はない。 小学校は、1日の中で環境事業センターとリサイクルセンターを一緒に回っていることの方が多いが、自治会だとその辺りが不明。
--	---

	【事務局（伊藤課長）】 事務局としては、結果は結果として受け止めるしかない。いささか寂しい感じがする。 茅ヶ崎市の自治会に、どう働きかけをしたらよいか難しさはあるが、その辺りを探っていけたらと考えている。 【事務局（赤井副主幹）】 夏のバスツアーを２回から３回に増やしたこともあり、茅ヶ崎市では今年度、自治会でリサイクルセンターの見学をしたいときは、このバスツアーを紹介するように変えたと言っていた。 自治会単位ということではなく、市民の方で希望がある方が、自治会を越えて申し込みがあると良い。 【菊地委員長】 見学をしてもらうことで、分別の精度が良くなれば良いと考えている。 そのためには、見学をしてもらって自覚してもらえれば、より分別の精度が上がるのではないかなと思う。 昔は、プラとプラスチック容器包装の区別がつかなかったが、今はどれくらい明確になっているか。 【事務局（赤井副主幹）】 特にプラスチック容器包装の中は、委員長がおっしゃるように、今でもかなり異物が入ってきている。 このような物が入っていたということを茅ヶ崎市と情報共有をしている。茅ヶ崎市は茅ヶ崎市で、ホームページやSNSで、「このような物が入っていました。気をつけてください。」というような市民への啓発に力を入れている。 寒川町も、リサイクルセンターで出てきた異物については、町の環境課とも情報提供をして啓発についてお願いをしている状況。 【菊地委員長】 異物が入っていることによって、色々な事故が起こったりする。パッカー車でとか、カミソリとかも。せっかく立派な施設ですから活用されれば良いかなと思う。 【事務局（筒井）】 昨年度、リサイクルセンターのホームページで啓発の部分載せるようにした。写真付きで載せていて町民の方にも分かるようにした。 【石田員長】 今年は、ダイヤモンド富士は出たか。
--	---

	【事務局（赤井副主幹）】 春分の日は、見れませんでした。 昨年秋分の日も、曇ってしまい見れませんでした。それでもツアーの方は、お越しいただいて見学された。 【石田員長】 見学に来る人も楽しみにしてるんだと思う。 【事務局（大山部長）】 2回続けて、曇ってしまい残念ではあったが、観光協会の方は、また引き続き、リサイクルセンターでやりたいと言っていたので、そういうところからも見学の方がどんどん広がってくればいい。 <u>（4）令和8年度長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について</u> 【菊地委員長】 今、故障はあるか。故障により、計画が進まなかったとかあるか。 【事務局（赤井副主幹）】 故障が起きて、慌ててやらなければいけないということは、特に聞いていない。点検を定期的に行っている中で、大きな故障になる前の状態で発見され対応している。 【菊地委員長】 ほぼ計画通りということか。 【事務局（筒井）】 はい、そうですね。 【菊地委員長】 プラスチック容器包装のベールは破裂したか。 【事務局（赤井副主幹）】 それは、時々ある。 【菊地委員長】 頻度はあまりないのか。昔は毎日のようにあった。 【事務局（赤井副主幹）】 それは多い。 【菊地委員長】 破裂したら、上から皆が降りてきて対応した。今でもそうか。 【事務局（赤井副主幹）】 今でもそうです。そこまで頻度はない。
--	---

(5) その他報告

【事務局（筒井）】

令和 6 年度に開始したバスツアーは今年も開催する。

7/28（火）の「夏休み親子見学バスツアー」は、寒川町と茅ヶ崎市在住の小学 1 年から 6 年生までの児童とその保護者を対象として実施する。

募集期間は、本日から 7/23（木）まで、募集人数は 25 人で先着順。

また、「環境施設見学バスツアー」も、8/13（木）と 8/20（木）に開催する。こちらは、小学 1 年生以上の方が対象。

これまでは、年 2 回だったが、今年は 3 回に増やしての「バスツアー」となっている。

エコセンター湘南にバスを借り上げてもらい、寒川在住の参加者は町民センターの入り口からバスに乗車、茅ヶ崎在住の参加者は茅ヶ崎市役所から乗車し、茅ヶ崎市の環境事業センターとリサイクルセンターを見学するというスケジュール。

参考までに「広報 7 月号」と寒川町内及び茅ヶ崎市内の学校に「配布したチラシ」を用意した。

この他にも小学生及び中学生向けの生涯学習情報紙の「スキップ」にも掲載している。

【石田員長】

費用はどうか。

【事務局（筒井）】

参加者の費用は無料。

【菊地委員長】

今日から申し込みか。

【事務局（筒井）】

夏休み親子見学バスツアーは、今日からの申し込みとなっている。

【菊地委員長】

どこで申し込めるか。

【事務局（筒井）】

リサイクルセンターのホームページの方から申し込みをしていただくようになっており、ネット環境が整っていない場合は、電話でも受付しようと考えている。

配付資料	資料 1-1 資源物搬入量・搬出量実績（R7 年度と R6 年度との比較） 資料 1-2 R7 年度と R6 年度の搬入量比較(4～3 月分) 資料 2 資源物の搬出量と売却額及び売却単価の比較 資料 3 R7 年度・R6 年度寒川広域リサイクルセンター施設見学者数 参考資料 寒川町・茅ヶ崎市の見学者数（個人見学を除く） 資料 4 令和 8 年度年間運転計画 資料 5 バスツアー関連資料(広報 7 月号記事及び学校に配布したチラシ)
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	石田 稔 (令和 8 年 8 月 1 0 日確定)